光山だより

１１月号
発　行
大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部
http://www.ozo.jp

コロナ禍の影響で今年のトライやるは２日間で行うことになりました。地域の方々と共に活動できる内容にしたいと考え大沢出張所に協力をいただきました。

９月29日（火）午前は市立工業高等専門学校の鳥居先生，宇野先生から「防災の基本」「水害」についての講義を受けました。午後は県立人と自然の博物館の高田先生の指導で大沢町のハザードマップを用いてフィールドワークの予習を行いました。安井委員長をはじめ大沢町防災コミュニティーの方々から地図上に表れない危険箇所も教えていただきました。９月30日（水）午前は大沢町防災コミュニティーの方々の案内で大沢町の各地区の危険箇所を地図と対比しながら調査しました。午後は教えていただいたことを模造紙にまとめポスターセッションで発表しました。充実した二日間であったと生徒たちはふり返っていました。

今回の活動で地域の方と交流できたことで、地域の方に支えられて様々な活動ができていることを生徒たちはあらためて実感したようです。10月の月目標は「地域の方々との交流をもとう！」と決まりました。

トライやるで、危険は身近にあることや、それに対して備えなければならないことを学びました。地域の皆さんにもお伝えしたいという生徒の発案で、「大沢守ろう！」で学んだことをプリントにまとめて各家庭にお届けしたいと考えています。ご一読ください。

防災福祉コミュニティーとして

まず私たちが想像した以上に、生徒たちは頑張っていました。ある生徒さんから手紙を頂きました一部を転記します。「私達が歩いてきた場所が大きく崩れていた写真を見てぞっとしました。地滑りが起きたと耳にするだけでは警戒心が生まれないが、実際に目に焼き付ける事ができ、本当によい体験になりました。今回学んだ事を家族や周りの人にしっかり伝えていきたい。」と書かれていました。

また２日目の体験発表では、「災害が発生する前に避難しないといけないが、近くのお年寄りにも声をかけ、一緒に避難する」と生徒が発表。また父兄（上津台）からは「自分達に出来る防災として、大沢町内の溝掃除をしないか。少しでも高齢者の助けになるのでは」と、こちらがびっくりする提案もありました。いま私達に必要なのは、個々の努力と身近な共助であることを、再認識できた２日間でした。（安井健十）

忠霊塔がきれいになりました

大沢町誌によると、「わがむらにおいては、西南、日清、日露戦争及び満州事変までは戦死者が一名もなかったが、今次の太平洋戦争において、初めて尊い犠牲者が出た。従って、村を挙げて慰霊塔の建設に着手したのである」と。昭和17年４月起工　昭和19年３月21日竣工式並びに招魂祭

戦後も自治振興会（自治連合会）や郷友会大沢支部をはじめ町内外の皆様方の浄財によりまして整備され、本年、戦後75年を迎えました。

今年の慰霊祭は新型コロナウイルス感染予防により中止しましたが、これまで気になっていました忠霊塔（階段等含む）の汚れを自治連合会のお力添えに寄りまして、９月の彼岸過ぎに、業者に高圧洗浄してもらいました。今は、85柱の英霊が鎮魂され、わがまちの発展を見守っておられます。

すこし足を延ばして、お参りいただければうれしいです。

（大沢町遺族会　北本義利）

健康コラム１１月号　「インフルエンザに注意１しましょう」

★インフルエンザの感染経路について
・飛沫感染：感染者が咳やくしゃみをすると、空気中にウイルスが飛び散ります。近くにいる人がその空気を鼻や口から吸い込むことで感染します。・接触感染：感染者が触ったドアノブやスイッチ、手すりなどを触ってしまうことでウイルスが付着します。その手で鼻や口、目などを触ることで、粘膜から侵入してしまいます。

★感染力・潜伏期間について
・感染力：非常に強い。　・潜伏期間：2日前後。

感染予防のポイント

★手洗い・うがい：外出後はもちろん、食事前などこまめな手洗いを心がけましょう。アルコールによる手指消毒も有効です。うがいは、洗浄効果のほか、のどの粘膜を潤して、防御機能を高めます。
★咳エチケット：①マスクを着用する（口・鼻を覆う）
②マスクがないときは、ティッシュやハンカチで口と鼻を覆う。
③とっさの時は、袖で口と鼻を覆う。
★適度な湿度の保持：インフルエンザウイルスは、空気が乾燥したときに活動が活発になります。加湿器などを利用して、室内を適切な湿度（50～６０％）に保ち、ウイルスが活動しやすい環境をつくらないようにしましょう。
★その他：人込みは避ける、バランスのよい食事と睡眠を十分にとる。

予防接種　インフルエンザは、例年１２月下旬～１月上旬から流行が始まります。
ワクチンの効果が得られるまでに約２週間かかります。流行期に備え、できるだけ１２月中旬までに接種しましょう。　［問］市総合コールセンター　・333-3330
接種期間：令和２年10月1日～令和３年1月31日
※例年10月15日開始ですが新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は10月1日より開始します。対象：神戸市民
小児（満1～12歳）…市内契約医療機関で定められた費用のうち2,000円を助成（1回目限）
65歳以上・60歳～64歳　心臓、腎臓、呼吸器、免疫不全で身障1級または同程度
…費用：1,500円（高齢者のうち生活保護世帯・市民税非課税世帯等無料）
参考：神戸市ホームページ　「インフルエンザに注意しましょう」
：監修/国立病院機構東京病院感染症科部長　永井英明「正しく知ってしっかり予防！インフルエンザ」

俳句

梵鐘の響きにそよぐ初紅葉　ちが
病む母に寄り添ふ日々や初紅葉　三恵子
つじつまの合はぬこと多き秋の暮　正子
小さき手を繋ぐ散歩や初紅葉　純子

投句

あの山を越ゆれば故郷初紅葉　澄子
手水舎に写りてゆらぐ初紅葉　弘枝
（先月未掲載分）
秋給真っ先に出すお気に入り　弘枝

絵：小西　恵子

健診を受けましょう

－神戸市市民健診－

予約された方は忘れず受診をお願いします
11月24日（火）
ＪＡ大沢支店

行事予定

11／1　やまびこ会定例会
11／2　光山だより編集委員会
11／6　民生児童委員会
11／7　大沢フェスタ
11／10　北区自治協議会
11／12　婦人会定例役員会
11／13　学校公開デー
11／14　コメづくり広場収穫祭
11／19　自治連合会定例役員会
11／24　神戸市住民健診（後期）
11／25　光山だより配布

町民の動き

おくやみ

8／20　神　付　寺岡富枝さん97歳
10／2　神　付　向井　優さん94歳
10／4　中大沢　瀧脇良廣さん96歳

大沢町 地域事務局 掲示板

学校園ＰＪ

10月14日（水）にプロジェクト会議が開催されました。給食配膳室・多目的室増築や体育館の空調設備などの工事も完了し、ハード面での整備も充実してきた大沢校に対して、最近では就学希望者も増加傾向にあるようです。来年度に向けた就学説明会は10月31日（土）に予定されています。

定住促進ＰＪ

最近は、大沢町を指定した上での移住希望者が増加しており、東京のふるさと回帰支援センターにも東京圏からの相談があり、大沢町の現地案内をしました。移住希望者と提供できる物件とのマッチングに努力してきておりますが、この度11月15日（日）に今年度の物件内見会を予定しています。地域集落に溶け込めるような、温かい心を持った人たちとの縁が結ばれることを期待します。

バラタンシャツ予約受付中

大沢町のキャラクター「バラタン」をあしらったポロシャツとTシャツの注文受付が出来るようになりました。現時点では白色のみですが、各サイズ共通の1着1，５００円です。こちらの販売により得られた収益は、大沢町の地域活動に役立てられます。注文後の発注になりますので納品には1～2週間必要です。見本品および地域事務局への取次を大沢出張所にお願いしております。

大沢町ＰＲ動画企画

我が町「大沢町」を広く知ってもらえるようにＰＲ動画の作成をしております。豊かな自然や人の温かさが伝わるような内容となるように鋭意作成中です。

大沢フェスタと エコハイキング

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策により、例年通りでの開催が困難ではありますが、検温・消毒の実施や３密対策などを徹底することで、11月7日（土）に大沢フェスタを、11月23日（月・祝）にエコハイキングを開催できるように進めています。

『都市との交流…大沢体験の場づくり』事業の一つとして、今年第２回目の「ふれあいコメづくりひろば」『稲刈り＆焼き芋つくり』編を、10月17日（土）５家族20名の参加者を得て、上大沢ふれあい会館と周辺の圃場で開催しました。この事業も、新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用の上、お互いに防止意識を確認し、事業開始時等に検温と消毒等を行ない実施。

当日はあいにくの雨模様、稲刈りはデモだけと考えていたところ、参加の皆さん特に子ども達から「やりたい」との声により圃場へ。指導員から説明を受けカッパを着て黙々と稲刈り作業を体感。その後、グループごとに間隔をとり、簡易コンロを使っての焼き芋つくり。秋の味覚をちょっぴり頂きました。

事業終了時に楽しかった？感想を聞くと、「雨の中での稲刈り」との声。次回の事業「収穫祭」で出逢えることを楽しみに会場を後にしました。

（大家重明）

吉田さんの地域おこしコーナー

『神戸市北区のお米の本』

ＦＡＲＭ　ＣＩＲＣＵＳ初となるフリー冊子『神戸市北区のお米の本』が登場しました。お米を育てる農家さんの取材記事や、スタッフのお米に対する思い、酒米とお酒の話など、“お米”をテーマに、いろんな角度から魅力を詰め込みました。

冊子の表紙になっているのは、大沢町の農家さんとＧＡＰのスタッフで、ＧＡＰがコーディネートをしてくれました。地域をサポートしたいＧＡＰとＦＡＲＭ　ＣＩＲＣＵＳが”農家さんをサポート”という想いで今回のコラボレーションが実現しました。

冊子はＦＡＲＭ　ＣＩＲＣＵＳマーケットやフードコートにて無料配布しておりますので、是非チェックしてみてください。

行ってよかった修学旅行

10月12日、13日の二日間で奈良、三重に修学旅行へ行ってきました。天候にも恵まれ、体調を崩すことなく元気に帰ってきました。１日目には奈良の法隆寺、東大寺を見学しました。歴史を体で感じることができました。特に東大寺では、事前学習で大仏の手の大きさを実際に新聞紙で作ったかいがあり、生で見る迫力に声が上がっていました。

２日目のスペイン村でも自分たちで乗りたいアトラクション毎に予定を立て、行動する事ができました。

五年生、六年生と続けて担任をしているので、この修学旅行でまた成長を感じました。残りの時間を大切にし、更なる成長を見守っていきたいと思います。

児童館だより

コロナ禍の中、例年の行事を実施することができませんでした。ところが学校休校中に学童保育の子どもたちは元気よく児童館に来てくれました。そして学習、遊びの合間に菊つくりをしました。昨年に比べ鉢数は少ないですが、つぼみも膨らみ開花する日が楽しみです。学校玄関前に並べますので、是非ともご鑑賞ください。

話は変わりますが、今児童館では町民芸術祭に向けて作品作りに頑張っています。「なかよしひろば」に参加しているお子さんとお母さんの作品。（手形、メリーゴーランド）そして児童館に来る子どもたちの作品です。（ランタン）のべ31人、作品の出来はいかがでしたでしょうか。

まだまだコロナの影響は続きそうです。今出来ることを子どもたちと一緒に取り組みたいと思います。

（斎藤洋司）

「農村地域における学校園との交流活動」を発表

＝さわやかフォーラム＝

本年度もさわやかフォーラム（知事と神戸市民が語る集い）が去る10月6日、兵庫県公館において開催されました。神戸市老人クラブとの集いでは、６団体から新型コロナの感染防止対策に工夫を凝らしながら活動を進めている実態が報告されました。

北区老人クラブを代表して、大沢松寿会から「農村地域における学校園との交流活動」と題して、40年以上続いている「わら細工の会」や「むかしのくらし」夏の風物詩「ソーメン流し」などの活動を通じてこども達との交流とふれあいを深めているとの発表を行いました。

井戸知事から、こども達との有意義な交流は今後も是非続けてほしいとのコメントがありました。わら細工の会は、材料のわらの確保が難しいこと、会員の高齢化などにより活動が困難になっていますが、農村ならではの伝統行事として継承していきたい。

（乗井幹雄）

今年の秋祭り